

特別管理産業廃棄物処理計画書

2022年 6月28日

三重県知事 殿

提出者

住所 三重県員弁郡東員町山田3707番地の1

氏名 株式会社ADEKA 三重工場

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0594-76-2330

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ADEKA 三重工場
事業場の所在地	三重県員弁郡東員町山田3707番地の1
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	E16 製造業/ 化学工業
② 事業の規模	21,400百万円
③ 従業員数	196名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	添付資料①『特別管理産業廃棄物の発生フロー及び排出量等一覧表』を参照して下さい。

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

添付資料②『管理体制・社内ルール』を参照して下さい。

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙3の「前年度実績」欄に記載して下さい。
	排出量	
	(これまでに実施した取組) ・廃溶剤を有価物として売却。 ・廃アルカリの循環利用による抑制。	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙3の「今年度目標」欄に記載して下さい。
	排出量	
	(今後実施する予定の取組) 継続して製法改善を行い、廃棄物の発生が少ない製法を検討していきます。	

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特別管理産業廃棄物の種類 引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ ・分類に関する取組 保管場所を明確に区別し、混合しない様に保管管理、教育の実施を行った。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き、管理の徹底を行い、また、焼却熱源として利用できる廃油の回収量アップのため、油水分離の徹底を行います。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【 前年度実績 】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	この欄へは記入せず、別紙3の「前年度実績」欄に記載してください。
	(これまでに実施した取組) 製造工程で使用する各種溶剤は不要物とすれば、廃油に分類される廃棄物あるが、その一部は製造工程に組み込み精製し再生利用している。不要物とは考えておらず、製造工程の付加分と考えており、カウントしていません。	
②計画	【 目標 】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	この欄へは記入せず、別紙3の「今年度目標」欄に記載してください。
	(今後実施する予定の取組) 特筆すべき新たな取組はありませんが、継続して資源の有効利用に努めます。	
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【 前年度実績 】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	この欄へは記入せず、別紙3の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組) ・産廃焼却炉には廃熱を利用した蒸気ボイラーが備えてあり、工場使用蒸気の凡そ20%を供給。 ・産廃焼却炉による廃油、廃酸、廃アルカリの焼却による減量化。		
②計画	【 目標 】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	この欄へは記入せず、別紙3の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組) 廃アルカリの廃水処理による無害化処理の検討を行います。		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	特別管理産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙3の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 該当せず。	
②計画	【 目標 】	
	特別管理産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙3の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 該当せず。	

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙3の「前年度実績」欄に記載してください。
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(これまでに実施した取組) ・最終埋立量の削減のため、再生利用業者の情報収集及び委託先の転換。	

②計画	【 目標 】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙3の「今年度目標」欄に記載してください。
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
(今後実施する予定の取組)		
・今後も情報収集を行い、資源として有効利用して頂ける処理業者の開拓及び委託先の転換に努めます。		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度(2021年度)実績】	
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く)	4435 t
	(今後実施する予定の取組)	
平成30年4月1日より、電子マニフェストの導入を開始。委託契約のある産業廃棄物処理業者及び産業廃棄物収集・運搬業者とは電子マニフェストで運用を行っています。		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(以下「令」という。)第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報組織の使用に関する取組(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
- 9 欄及び※欄は記入しないこと。

} 記入願います
 } 記入不要です

項目	廃棄物の種類		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	合計量 (t)	合計量 PCB除く (t) *	
	現状/計画		引火性廃油	腐食性廃酸pH2以下	腐食性廃アルカリpH12.5以上	感染性産業廃棄物	廃PCB等	PCB汚染物	PCB処理物	廃水銀等	指定下水汚泥	有害鉱さい	廃石綿等	有害燃え殻	有害ばいじん	有害廃油	有害汚泥	有害廃酸	有害廃アルカリ			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量 ①	前年度実績																		0	0	
		今年度目標	202	9	4136																4347	
自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 ②+⑧	前年度実績																		0		
		今年度目標																			0	
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量 ⑤	前年度実績																		0		
		今年度目標																			0	
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量⑦	前年度実績																			0	
		今年度目標																				0
自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分にに関する事項	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量 ③+⑨	前年度実績																		0		
		今年度目標																			0	
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量 ⑩	前年度実績																		0		
		今年度目標	202	9	4136																4347	
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪	前年度実績																			0	
		今年度目標	202	9	4081																4292	
	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫	前年度実績																			0	
		今年度目標	179		2931																3110	
	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量 ⑬	前年度実績																			0	
		今年度目標	23	9	1204																1236	
⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭	前年度実績																			0		
	今年度目標			1986																1986		

(注) 特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書(様式第二号の十四)を提出する事業者は、本シートの前年度実績欄への記入は不要です。
 (参考) 各項目の白抜き番号は、様式第二号の14 別紙4の項目番号です。
 * PCBとは、上記の オ廃PCB等、カPCB汚染物、キPCB処理物 です。